

社協だより 萩

2024
6 / 1

Vol.100



赤い羽根共同募金の配分
により、発行しています。



みなさまに支えられて



社協だより萩は100号を迎えました

平成17年（2005年）3月6日、萩市・川上村・田万川町・むつみ村・須佐町・旭村・福栄村の1市2町4村は合併し、新「萩市」となり現在に至ります。翌3月7日、萩市社会福祉協議会は1市2町4村の社会福祉協議会の合併により誕生しました。そして平成17年（2005年）4月に萩市「社協だより萩」は第1号を発行し、皆さまのご支援、ご協力のおかげで今回第100号を迎えることができました。

祝 100号記念、100歳インタビュー

社協だより萩は100号を記念して、大正、昭和、平成、令和の4時代を過ごして来られた市内にお住まいの100歳の方々にインタビューをしました。

人生100年時代を迎える中で、長い人生を自分らしく健やかに生きていくために、気持ちの持ち方や健康の秘訣、家族への思いについて、たくさんのお話を聞かせていただきました。

みなさん、和やかな雰囲気の中で、優しい笑顔を向けてくださいました。



おおた たかよし
大田 隆美さん(福川)

自分の信念を大切に

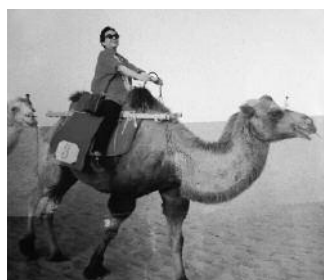
大正12年、奈古の宇久に生まれました。幼少期は満州で過ごし、18歳で上京し陸軍に入隊しました。終戦後は故郷に戻り、野菜や米を作って農業に勤しみました。30歳頃からは左官の仕事を始め、大変な仕事で怪我もしましたが、75歳くらいまで働きました。左官の仕事をする傍ら、消防団に加入し、地域の安全や安心のために活動をしてきました。楽しかったですね。若い頃から体を動かして、人と話をするのが好きでしたから。これまでの様々な功績が認められ、88歳のころに天皇陛下から勲章を受章しました。

病気や怪我をして、色々な人に助けてもらいましたが、最後は自分が信じるやり方を貫いております。これからも栄養をしっかり摂って健康に、いつまでも自分でバスに乗って買い物に行きたいです。



こともよくありました。若いころは日本各地や外国、色々なところを飛び回っていました。旅行先でラクダに乗ったこともあります。今考えると、あの頃は本当に怖いもの知らずでした。

今は、施設の方にお世話になりながら、ぬり絵や習字を楽しんでいます。好き嫌いをせず、なんでもよく噛んで食べることが健康の秘訣です。



まつうら よしこ
松浦ヨシコさん(大井)

家族の支えのおかげです

大正12年、奈古に生まれました。海が近くにあったこともあり、子どもの頃から新鮮な魚をよくいただいて、今でも魚が大好きです。娘時代は朝鮮の診療所でお手伝いをしていました。大変な時代でしたが、周囲の支えもありなんとか頑張ってきました。結婚後は主人の仕事の関係で宇部で長らく過ごしました。また、趣味の大正琴の演奏で、施設にボランティア活動に行くこともありました。ボランティア活動ではいろんな方に出会い、良い経験をしたと思っています。主人は子どもにはもちろん、私にもとても優しくしてくれました。孫やひ孫も顔を見せに来てくれて、元気のもとになっています。家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

長生きの秘訣は、好き嫌いをせずに何でも食べることだと思っています。これからも明るく前向きに、そして力強く生きたいと思います。



なが た ち え こ
永田千枝子さん(椿東)

健康の秘訣はよく噛むこと

大正13年、長門市の三隅に生まれました。小さいころから動物が好きな活発な子どもでした。父の影響で幼いころから運動が大好きで、陸上や体操、水泳などたくさんのスポーツをしてきました。体格に恵まれたこともあり、選手に選ばれる

善意銀行 ありがとうございます

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※令和6年3月1日～令和6年4月30日受付分（敬称略）

香典返し・玉串料返し・花料返し

氏名	住所	備考	金額
萩			
曾根 康夫	見島9区	母／幸子	金一封
河野 光造	新川南の3	母／洋子	金一封
安達 法子	上野の2	夫／幸孝	金一封
田中 恵子	大井後地	夫／誠	金一封
河野 力夫	三見蔵本	父／文次	金一封
山本 邦彦	大井市場	父／俊男	金一封
佃 英治	見島4区	父／邦夫	金一封
東野 光雄	見島11区	妻／トモエ	金一封
茂刈 善広	江向	妻／砂詠乃	金一封
岡 三多加	大井円光寺	母／阿武美代子	金一封
坂倉 良夫	相島中	父／茂	金一封
廣石 旬悟	土原3区の4	父／音助	金一封
有田 保子	青海	父／榮一	金一封

氏名	住所	備考	金額
田 万 川			
山下マキコ	土居	母／愛子	金一封
上村 敏	小川4区	妻／智子	金一封
水津 俊男	小川2区	母／サツキ	100,000円
む つ み			
寺山 民夫	御舟子	母／恵美子	10,000円
上山 順子	宮廻	夫／明	100,000円
岡本 富夫	中郷	妻／フミコ	金一封
須 佐			
田村 進	下三原下	母／正子	金一封
柴田 静江	中津	夫／松二	金一封
末永 朗	弥富11区	母／夫美代	金一封
旭			
中村 敦雄	矢代	母／勝江	金一封
福 栄			
藤井 稔	紫福山田	妻／モミエ	金一封
吉村 孝	向山	父／来原保夫	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
田中 輝夫	新川東の2	社会福祉へ	5,000円
匿名		社会福祉へ	20,000円
匿名		社会福祉へ	10,000円

氏名	住所	備考	金額
ささえあいみずぐるま	江向4区	社会福祉へ	2,414円
田 万 川			
江崎仏教団		社会福祉へ	100,000円
萩市立多磨小学校三年生一同		社会福祉へ	10,000円

善意銀行は地域福祉活動推進の貴重な財源になっています。どうかご協力ください。（香典返し・一般寄付合計 35件 1,155,414円）

お知らせ

令和6年度 災害ボランティア講座

起きてはならない災害ですが、地元で災害が発生した際に、災害ボランティアセンターの運営者や災害ボランティアとして活動ができるよう、災害ボランティアセンターに関する基礎的な知識やデジタルを活用した運営方法について学ぶことを目的として開催します。

日時 令和6年6月22日（土）13：00～15：30

場所 萩市総合福祉センター1階 多目的ホール

内容 ①模擬訓練

「災害ボランティアセンターを
実際に体験してみよう！」

講師 合同会社HUGKUMI

代表社員 長井一浩氏

業務執行社員 小島寛氏

②報告

「災害ボランティアセンターの様子について
～令和6年能登半島地震の現場から～」

報告者 山口県社会福祉協議会、萩市社協

対象 高校生・一般（定員50名程度）

参加費 無料

申込み 萩市ボランティアセンター

（☎0838-22-2289）または

QRコードからお申込みください。

（6/10締め切り）



福祉教育体験学習サポーター養成講座

学校や地域で行う福祉体験学習のお手伝いをしてくださるボランティアの養成講座を開催します。

＊どなたでもご参加いただけます。

日時 令和6年7月2日（火）9：30～11：30

場所 萩市総合福祉センター2階 団体会議室

内容 「福祉体験学習の進め方」

「高齢者疑似体験・車いす・アイマスク体験」

定員 20名程度 ＊定員になり次第締め切り

申込み 萩市ボランティアセンター（☎0838-22-2289）

またはQRコードからお申込みください。



第22回 法と福祉のセミナー

地域福祉と法律相談センターをつなぐことを目的として、「法と福祉のセミナー」が毎年開催されています。今年も身近な法律や福祉の問題を、分かりやすく説明されます。

日時 令和6年7月22日（月）14：00～16：00

場所 ルネッサながと

内容 「こんなときどうする～遺産相続

（相続登記の義務化がはじまりました！）」

入場費 無料

その他 送迎バスを準備します。利用を希望する方は、社協（☎0838-22-2289）へ連絡ください。（先着20名程度）





地域にフォーカス

地域の取り組みや活動を紹介していきます。

田万川

愛情いっぱいの育児は、お母さんのゆとりから 陽だまりママサロン

田万川・須佐地区のお母さん達が集う場所、陽だまりママサロン。子どもと一緒に来られる方、お母さん一人で来られる方と様々。お互いに子ども達を見守りながら、子どもと遊び、子育てや日常のいろいろなことを語り合い、笑い合い、受け止め合うあたたかい場所です。子ども同士が刺激を受け、サロン中に「初めて出来た!」を喜び合うこともあり、幸せなひと時です。ここからママ同士の繋がりが出来るなど日常の潤いにも繋がっているように思います。サロンLINEグループでは子育てに関わる情報も行きます。

子どもと居る時間を長く感じるがありますが、実はその時間は人生のうちでとても短い。だから、このわずかな育児の時間が少しでも多くの笑顔で、楽しく幸せな時間になるようにと思います。お母さんにゆとりがあるほど、子どもは愛で満たされ心身ともに安定します。力を抜きに、あらゆる年齢の子どもやお母さん達、どうぞおいでませ!



ボランティア職員派遣報告

令和6年4月24日～令和6年4月30日

令和6年1月1日、能登半島地震で被災した石川県能登社協より全社協に対し、中能登町災害ボランティアセンターの運営における職員の派遣依頼があり、本会からは、総務課 室谷隆之介主事が派遣されました。

災害ボランティアセンターの運営スタッフとして1週間、能登町へ滞在しました。たくさんのボランティアの方がご協力くださり復旧に向けて取り組まれています。今現在もお手つかずの家や土砂崩れ、道路状況など、引き続き支援が必要であると感じています。

私が行った仕事は被災者からの「ニーズ受付」、家屋等の状況の確認・具体的な支援の活動内容を聞きとる「現地調査」、支援が必要な被災者へボランティアの方に活動していただく「マッチング」を行いました。

1週間という短い期間ではありましたが、災害ボランティアセンター運営の一連の流れ、被災された方のお気持ち、共に活動を行った社協職員との繋がりは、とても大きな経験になりました。

本会では、一日も早い復旧をお祈りするとともに、今後も被災地へ支援を継続してまいります。



令和6年能登半島地震災害義援金の募集について

このたびの災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。石川県、富山県、新潟県、福井県の共同募金会では、被災された方々を支援するために義援金の募集を行っています。

3月末までに本会に寄せられた義援金及び支援金は575,382円でした。ありがとうございました。

受付期間 令和6年12月27日(金)まで(被災県の状況に応じて、受付期間が異なります。)

萩市社会福祉協議会・各事務所において、義援金を受付しております。

詳しくは、中央共同募金会のホームページをご確認ください。



教育支援資金貸付のご案内

生活福祉資金貸付制度の中に、教育支援資金の貸付があります。これは、低所得世帯に属する者が、高等学校や大学、専門学校などに就学あるいは入学に際して必要な経費を無利子で貸し付けるものです。

資金の種類	貸付上限額	据置期間	償還期間
教育支援費	ア、高等学校／月額3.5万円以内 イ、高等専門学校／月額6万円以内 ウ、短期大学 (専修学校専門課程を含む)／月額6万円以内 エ、大学／月額6.5万円以内 ※ア～エにつき、特に必要と認められる場合に限り、貸付上限額の1.5倍まで申込可能	卒業年の 4月1日から 6ヵ月以内	据置期間経過後 20年以内
就学支度費	50万円以内		

- ・修学する本人が資金の借入申込者(借受人)、世帯の生計中心者(主に親)が連帯借受人となります。
- ・貸付には審査があるため、納入期限に間に合うよう余裕をもって申込みしてください。

お問い合わせ先／萩市社会福祉協議会相談支援課 ☎0838-22-2289